

憲法を暮らしに活かす政治を

日本共産党

参院選
(2022 夏)

県議選
(2022 冬)



ごいっしょに 市民と野党の共闘・日本共産党の躍進を!!

参院選比例予定候補



いわぶち

とも
友

茨城のみなさん。
よろしくお願いします。

参議院議員

いわぶち 友

夏の参議院選挙で2期目に挑戦します。東日本大震災と東京電力福島第一原発事故で被害にあった方々の声を国会で取り上げ、原発のない社会の実現を求めてきました。気候危機の打開は待ったなしです。原発と石炭火力はゼロ、省エネに思い切って取り組み、地域と共生する再エネ導入のためのルールづくりを進めるために、引き続きみなさんと力を合わせます。

コロナ禍のもと、地域を支える中小企業、農林漁業が持続可能な社会の実現に力を尽くしてきました。自己責任を押し付ける政治から、命と暮らしを守る政治へ、憲法が暮らしに生きる社会の実現へ。

今年で党創立100周年。比例5議席と選挙区の勝利で、新しい政治への一歩を踏み出しましょう。

総選挙では、大きなご支援をいただきありがとうございました。昨年は市民と野党の共闘が大きく広がった年でもありました。

コロナ禍における医療費削減政策の転換、ワーキングプアをなくし、消費税減税や富裕層の負担強化など公平な税制実現に全力を尽くします。

気候危機打開やジェンダー平等にも引き続き取り組んでまいります。

海外で戦争する国づくりを許さず、9条改憲策動を断念に追い込む国民的な運動を広げましょう。

今年参院選の年。野党共闘をさらに発展させ、比例代表でいわぶち友参議院議員をはじめ5議席を必ず実現しましょう。



衆議院議員
塩川鉄也

2022年

新年あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願いします。

参院選・県議選に全力でがんばります。

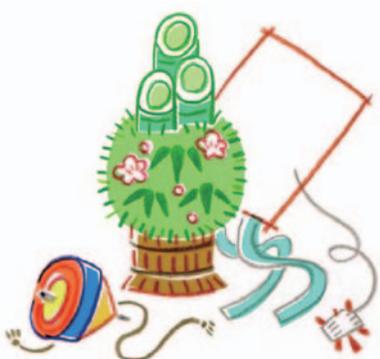
ご支援ご協力をおねがいします。

日本共産党茨城県委員会 委員長 上野高志

昨年の総選挙で、茨城県党も初の野党共闘選挙をたたかい、政権交代の第一歩を踏み出しました。今年総選挙での反転攻勢をはかる夏の参院選、暮れに統一選挙の前哨戦となる県議選がたたかわれます。岸田首相は昨年末の臨時国会の所信表明演説のなかで、歴代首相が言わなかった「敵基地攻撃能力の保有検討」を表明し、「新自由主義からの転換」と言って、「新しい資本主義」をかかげましたが、国会論戦で「安倍・菅政治の継承者」であることが浮き彫りとなりました。

日本共産党は、「4つのチェンジ」——①新自由主義の転換、②ジェンダー平等社会の実現、③気候危機打開、④憲法9条に基づく平和外交——を訴え市民の声を届けました。

今年も県民の皆さんと力を合わせ、大いに頼み事もお願いし、一緒に政治革新へ全力をつくします。本年もよろしくお願いします。



茨城民報

発行/日本共産党茨城県委員会

日本共産党の見解を紹介します。

ホームページ

JCP 茨城

2022年1月号外

〒310-0804 水戸市白梅3-13-8

☎029-353-8290 FAX.029-291-6935

メール jcp@ibjcp.gr.jp

コロナ禍／何よりも「いのちと暮らし」を

最優先する茨城県政をめざし、

みなさんと力をあわせて 全力でとりくみます。



いばらきを
変えよう!!

県議選予定候補第一次発表



山中たい子
(現)

- 1951 年福島県で生まれる
- 日本大学2部法学部新聞学科卒●新日本婦人の会・母親運動に参加●1984 年桜村議初当選、つくば市議4期
- 現在、県議団長、県議(4期)
- つくば市倉掛在住
- 夫と2人暮らし

コロナ禍の新年、第6波への懸念が広がっています。3回目のワクチン接種を急ぐことはもちろん、PCR検査で感染者を発見・保護・隔離することが必要です。医療も福祉も脆弱な茨城県は、ケア労働の担い手である、看護師や介護士、保育士などの待遇改善が急務です。コロナ危機で苦境に立つ事業者支援の拡充や子育て支援の要望も切実です。

全国8位の財政力を持つ茨城県。税金の使い方を企業誘致から暮らし向上へ改めさせましょう。

東海第2原発の再稼働ストップ、気候危機の打開へ、みなさんと力を合わせます。

岸田政権の「敵基地攻撃能力」発言と機を一にして、航空自衛隊百里基地でのオスプレイ訓練や日米共同訓練が実施され、県民の不安が高まっています。

命と暮らしをまもり、憲法を生かす政治をつくるために力を尽くします。



江尻かな
(現)

- 1973 年徳島県で生まれる
- 筑波大学芸術専門学群・建築デザイン卒●寿小学校PTA会長●2003年に水戸市議初当選(3期)
- 現在、県議(2期)
- 水戸市平須町在住
- 夫、二男一女

暮れの県議選で3期目をめざします。県都水戸の議席は、つねに激しい党派間のたたかいのなかで連続13期52年引き継いできました。どんな政治状況のもとでも勝ち抜けるよう、より多くの県民のみなさんに党の活動が見えるよう力を尽くします。

「県政が県民の声を反映できているか」—その大きな指標が、東海第2原発の再稼働問題です。あわせて「目先の儲けより県民の命を第一にする県政か」「自民党の数の力に負けない県民世論を示せるか」が問われていると思います。

自公政権いいなりの県政と県議会にくさびを打ち込み、県民の声の代弁者として働きます。

「共産党を応援しているって言いにくい」そんな思いも率直に出し合い、受け止めながら、明るく、楽しく活動しましょう。

暮らし応援
消費税 5%に



無料検査をさらに拡充し
クラスター防止を

ジェンダー平等
男女賃金格差の是正…



気候危機打開
石炭火発新增設から削減へ



コロナ
第6波防ぐ
PCR検査
実施を



原発ゼロの日本
東海第二原発再稼働ストップ、「廃炉」へ

